

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [人間関係とコミュニケーション](#) | [いじめ対処法①](#)

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

[社会保障](#)
[労使トラブル法律相談Q&A](#)
[労働関係法](#)
[経営全般](#)
[人間関係とコミュニケーション](#)
[ライフプラン](#)
[男女共同参画](#)
[公務員関係法](#)
[日朝の歴史](#)
[7つの習慣](#)
[中東の歴史](#)
[ボランティア活動](#)
[環境活動](#)
[社会貢献活動](#)
[自己啓発](#)
[生涯学習](#)
[外交・防衛問題](#)
[資本論](#)

いじめ対処法①

生徒（被害者）の立場で考える

いじめは教育現場にかぎらず至る所に存在する。

いじめを放置していると取り返しのつかないトラブルに発展することもある。

まずは生徒（被害者）の立場にたって考えなければならない。

先生（上司）から「悪きはないから気にするな」と言われた

- ①加害者の動機より被害者の心情をしっかりと受け止める
- ②いじめの被害はいじめの程度とイコールではないことを心得る

先生（上司）に話をきちんと聞いてもらえない

- ①被害者の困り感をしっかりと受け止める
- ②被害者と一緒にどうするかを考える

被害者の立場を考えずに、先生（上司）が加害者にすぐ伝えてしまう

- ①相談したことを周囲に知られないように配慮をし、情報を集める
- ②解決方法の共通理解を図る

先生（上司）に「自分にも悪いことがあるのでは、」と言われた

- ①いじめは何があっても許されないという立場に立つ
- ②加害者の改善すべき問題は、いじめが解消してから取り組む

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

[教育カリキュラム](#)

[日本国憲法](#)

[傾聴](#)

[語り部スキル](#)

[▶ キーワード検索はこちら](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.